



L2-Tech認証 申請書作成ガイド

2020年度L2-Tech製品情報の募集

デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社
2020年12月



**MAKING AN
IMPACT THAT
MATTERS**

since 1845

1. 各種申請書類の作成

様式1は、今回の申請内容に関する概要を記入し、さらに代表権を有する者の記名及び押印を行い、PDF形式にて提出してください

様式1 作成ガイド

英数字および記号に関しては、必ず半角で記載すること

様式1

年 月 日

環境省

地球温暖化対策事業室長 殿

(住所)

(会社名)

(代表者名)

代表権を有する者（主に代表取締役）の名前及び押印

デロイト
株式会
社代表
取締役
松本
太郎
等

2020年度L2-Tech認証 申請書

「2020年度L2-Tech認証実施要領」に基づき、下記のとおり申請いたします。
なお、上記実施要領及び「L2-Tech認証制度 実施規則」の内容を確認のうえ、これに従うことを誓約いたします。

記

総申請件数:	373	[型番]
(以下、内訳)		
-通常申請による親型番の申請件数:	16	[型番]
-通常申請による派生型番の申請件数:	165	[型番]
-簡易申請による親型番の申請件数:	17	[型番]
-簡易申請による派生型番の申請件数:	175	[型番]

申請件数は申請者ご自身でカウントし、様式1の該当欄に入力してください

以上

申請製品リスト（Excel）に製品情報を登録する際は、下記の内容をご入力ください

様式2 申請製品リストへの入力項目（1/3）

	入力項目	必須/任意	説明	入力例
1	L2-Tech水準表情報No.	必須	水準表に記載されたL2-Tech水準表情報No.を必ず入力してください。	S-001774
2	団体名	必須	社名等を入力してください（部署までは不要）	
3	製品名	必須	申請製品の製品名を必ず入力してください。	ガスヒートポンプαシリーズ
4	型番	必須	申請製品の型番を必ず入力してください。 ※項目「申請方式 親/派生」が「派生」となる申請の場合、申請数が多くなる際は「A00-001～A99-999」や「A-(X/Y/Z)-(100/200/300/400/500)」等、まとめて入力することを可能とする。	A-450α
5	申請方式 親/派生	必須	申請方式を必ず選択してください。 ※「派生」は、水準表のクラス、下記「性能（値）」が既出の型番（「親」と一致するものを指す。 ※「派生」を選択した場合、別紙3を提出すること（ただし、項目「申請方式 通常/簡易」が「簡易」で、前回認証された型番であれば不要）。	親
6	申請方式 通常/簡易	必須	申請方式を必ず選択してください。 ※水準表の認証対象欄に「●」と表示されているクラスに申請する場合、申請する製品が簡易申請の要件をすべて満たさない場合は、「通常」となります。	通常
7	親型番	必須*1	項目「申請方式 親/派生」が「派生」となる申請の場合、 <u>親型番を1種類決め</u> <u>たうえで、その型番を必ず入力</u> してください。	
8	派生型番	必須*1	項目「申請方式 親/派生」が「派生」となる申請の場合、「型番（「親型番」ではなく「型番）」と同じ内容を必ず入力してください。	
9	派生型番の理由	必須*1	項目「申請方式 親/派生」が「派生」となる申請の場合、色違い等、派生型番である理由を必ず入力してください。	

*1: 派生型番を申請する場合

申請製品リスト（Excel）に製品情報を登録する際は、下記の内容をご入力ください

様式2 申請製品リストへの入力項目（2/3）

	入力項目	必須/任意	説明	入力例
10	計算方法 準拠する規格	必須	性能（値）の計算に当たって準拠した規格の名称を必ず入力してください。	JISB8627:2015
11	試験条件 準拠する規格	必須	性能試験の実施に当たって準拠した規格の名称を必ず入力してください。	JISB8627:2015
12	商用化確認資料 ファイルNo.	必須*2	商用化確認資料のファイルNo.を「商用No.（半角数字）」と入力してください。その際、提出するファイル名も同様にしてください。 ※商品化確認資料と性能確認資料を同一の書類で提出可能な際は、「商用No.（半角数字）_性能No.（半角数字）」と記載する事	商用1
13	商用化確認資料URL	必須*2	確認資料のURLを必ず付記すること。 ※Web上で確認できない資料である場合は、事務局に相談すること。	http://www.XXX
14	性能（値）	必須	上記「性能確認資料」に記載された、製品の性能を示す数値（カタログ値）を必ず入力してください。	1.39
15	性能確認資料 ファイルNo.	必須*3	性能確認資料のファイルNo.を「性能No.（半角数字）」と入力してください。その際、提出するファイル名も同様にしてください。 ※商品化確認資料と性能確認資料を同一の書類で提出可能な際は、「商用No.（半角数字）_性能No.（半角数字）」と記載すること	性能1
16	性能確認資料URL	必須*4	確認資料のURLを必ず付記すること。 ※Web上で確認できない資料である場合は、事務局に相談すること。	http://www.OOO
17	原理・しくみ確認資料 ファイルNo.	必須*5	原理・しくみ確認資料のファイルNo.を「原理No.（半角数字）」と入力してください。その際、提出するファイル名も同様にしてください。	原理1
18	原理・しくみ確認資料 URL	必須*5	確認資料のURLを必ず付記すること。 ※Web上で確認できない資料である場合は、事務局に相談すること。	http://www.---

*2：商用化確認資料を提出する場合、*3：性能確認資料を提出する場合

*4：性能確認資料（試験結果報告書を除くカタログ等）を提出する場合、*5：原理・しくみ確認資料を提出する場合

申請製品リスト（Excel）に製品情報を登録する際は、下記の内容をご入力ください

様式2 申請製品リストへの入力項目（3/3）

	入力項目	必須/任意	説明	入力例
19	製品の特徴	必須	認証された場合、 <u>認証製品一覧の情報として公表される製品の特徴を原則200文字以内</u> で必ず入力してください。	室外機の圧縮機をガスエンジンで駆動し、ヒートポンプ運転によって冷暖房を行う空調システムであり、本製品はXXXにより、環境負荷の削減を実現している。
20	問合せ先 部署	必須	認証された場合、認証製品一覧の情報として公表される連絡先の部署名を必ず入力してください。	お客様サポート室
21	問合せ先 担当者	必須	認証された場合、認証製品一覧の情報として公表される連絡先の担当者名を必ず入力してください。	お客様サポート担当
22	問合せ先 電話番号	必須	認証された場合、認証製品一覧の情報として公表される連絡先の電話番号を半角、"- "入りで必ず入力してください。	03-6867-****
23	問合せ先 E-mail	必須	認証された場合、認証製品一覧の情報として公表される連絡先のE-mailアドレスを必ず入力してください。	support@****.co.jp
24	問合せ先 URL	必須	申請製品が紹介されているホームページのURLを必ず入力してください。	http://www.****

別紙2は性能確認資料にL2-Tech水準表に記載されている同一の計算方法が確認できない場合に提出を求めます。ファイルはEXCEL形式で提出してください

別紙2 作成ガイド

別紙2

年 月 日

EXCEL形式で提出してください (PDFは不可)

英数字および記号に関しては、必ず半角で記載すること

2020年度L2-Tech認証 計算方法・試験条件に関する誓約書

記入欄は必要に応じて追加してください

下記の通り誓約いたします。

■評価方法(計算方法)

以下の型番については、下表の評価方法に準じた計算方法に従って性能を算出しています。

型番	規格
A-450α、A-450β	JISB8627:2015

性能確認資料にL2-Tech水準表と同一の計算方法が記載されていない(年度も含む)場合に記入

規格は年度まで正確に記入する

■評価方法(試験条件)

以下の型番については、下表の評価方法に準じた試験条件に従って性能を算出しています。

型番	規格
A-450α、A-450β	JISB8627:2015

別紙3は申請内容に派生型番が含まれる場合に提出を求めます。ファイルはEXCEL形式で提出してください

別紙3 作成ガイド

別紙3

EXCEL形式で提出してください（PDFは不可）

英数字および記号に関しては、必ず半角で記載すること

記入欄は必要に応じて追加してください

2020年度L2-Tech認証 派生型番に関する誓約書

下記の通り誓約いたします。

既に各種資料が提出された親型番とクラス・性能が一致するものを「派生型番」とし、ここで親と派生の関係にあることを証明する

以下の型番については、下表のとおり親型番と派生型番の関係にのりま。

親型番は任意の1型番をご指定下さい

親型番	派生型番	理由
A-450α	A-450β	
A-450α	A-450γ	

派生型番は、その理由も同一の場合、A-450(β)(γ) 等とまとめて表示いただくことも可能です
※前回認証製品の場合は、前回と同一の表記（半英数字ハイフンの有無・位置など）としてください

2. 各種確認書類の作成

商用化確認資料は、今回申請するすべて型番が判読できるようにマークを付けた上で提出してください

商用化確認資料 作成ガイド

マークは蛍光ペン等、手書き可

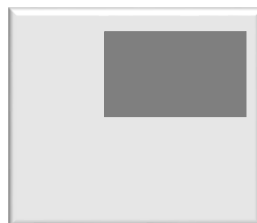
αシリーズ				
タイプ				
容量	280	450	710	
相当馬力	10	16	25	
型番				
標準仕様	A-280 α	A-450 α	A-710 α	A-850 α
増害仕様	A-280 β	A-450 β	A-710 β	A-850 β
特別		A-450 γ	A-710 γ	A-850 γ
		45.0	71.0	85.0
		50.0	80.0	
APFP 期間 成績係数	1.59	1.87	2.00	
法定 冷凍トン (RT)	3.15	4.86	7.25	9.56

提出ができない場合、別紙1にて
商用化確認を行う必要あり

該当する型番にカラーペン等でマークしてください
(申請製品リストに入力されている型番と、
本資料に記載の型番と完全に一致しない場合、
商用化確認資料としては認められない。
再提出を依頼する場合があります)

複数の型番を申請する際、
商用化確認資料の点数をまとめる際には、
該当する型番全てにマークをする

(注1) 上記の試験はJISB8627:2015条件にて運転したものです
(注2) APFPはJISB8627:2015条件により算出された値です



性能確認資料も申請する型番に該当するクラス（条件、能力）、性能値、試験条件、計算方法等を示す箇所にマークを付けてください

性能確認資料（カタログの場合） 作成ガイド

マークは蛍光ペン等、手書き可

該当する型番にマーク
(申請製品リストに入力されている型番と完全に一致しない場合、性能確認資料として認められない)

今回申請する、
該当のクラス（条件、能力）にマーク

今回申請する、
該当の性能にマーク

複数の型番を申請する際、
性能確認資料の点数をまとめる際には、
該当する型番全てにマークをする
(ただし、型番と性能の紐づけがわかるように記載する)

今回申請する、
該当の計算・試験条件にマーク
(L2-Tech水準表と同一の条件が記載されていない場合
(年度も含む)、別紙2にて誓約を行う必要あり)

αシリーズ				
タイプ				
容量	280	450	710	
相当馬力	10	16	25	
型番				
標準仕様	A-280 α	A-450 α	A-710 α	A-850 α
塩害仕様	A-280 β	A-450 β	A-710 β	A-850 β
特別仕様	A-280 γ	A-450 γ	A-710 γ	A-850 γ
冷房能力 (kW)	28.0	45.0	71.0	
暖房能力 (kW)	31.5	50.0	80.0	
APFp 期間成績係数	1.59	1.87	2.08	
法定冷凍トン (RT)	3.15	4.86	7.25	

(注1) 上記の試験はJISB8827:2015条件にて運転したものです
(注2) APFpはJISB8827:2015条件により算出された値です



シリーズ史上最高の
環境性能・低環境負荷

αシリーズ

試験結果報告書等においても、申請する型番に該当するクラス（条件、能力）、性能値、試験条件、計算方法等を示す箇所にマークを付けてください

性能確認資料（試験結果報告書の場合） 作成ガイド

マークは蛍光ペン等、手書き可

2018年7月1日
デロイトトーマツ
コンサルティング合同会社
品質管理課 課長
丸ノ内太郎

品質管理担当者等
の名前または押印

試験結果報告書

試験日 2018年6月1日
製品名 αシリーズ
型番 **A-PR100**

該当する型番にマーク
(申請製品リストに入力されている型番と完全に一致しない場合、性能確認資料として認められない)

試験項目	単位	設計仕様	測定値	適用規格
冷水入口温度	°C	15.0	15.1	JISB8622:2009
冷水出口温度	°C	7.0	7.2	
冷水流量	L/min	630	631	
冷水圧力損失	kPa	60.0	60.2	
冷却水入口温度	°C	32.0	32	
冷却水出口温度	°C	40.0	40.1	
冷却水流量	L/min	1,080	1,079	
冷却水圧力損失	kPa	60.0	59.9	
加熱源消費量	kW	270	270	
冷凍能力	kW	352	352 (100RT)	
COP成績係数	-	1.36	1.36	

該当のクラス（条件、能力）を
いる箇所にマーク
(単位はL2-Tech水準表に揃えたものを記載)

今回申請する、
該当の性能にマーク

該当する計算方法・試験条件を
示している箇所にマーク
(L2-Tech水準表と同一の条件が記載されていない場合（年度も含む）、別紙2にて誓約を行う必要あり)

※COPの算出方法は、JISB8622:2009による

原理・しくみ確認資料は、水準表に記載されている「原理・しくみ」に合致していることがわかるように該当箇所にマークを付けて提出してください

原理・しくみ確認資料 作成ガイド

マークは蛍光ペン等、手書き可



原理・しくみの説明部分にマーク